

事業評価調書（新規）

課名	農林水産部農林水産局 農地整備課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	二位 孝夫 (課長補佐兼基盤整備係長 坊垣 昌明)	内線	4003 (4016)
----	---------------------	---------------------	---------------------------------	----	----------------

事業種目	ほ場整備	事業名	事業区間	総事業費	約3.2億円
		基盤整備促進事業 (元気な地域づくり交付金)	中ノ番・松陰	内用地補償費	約0.1億円
所在地			事業採択 予定年度	着工予定 年 度	完成予定 年 度
明石市大久保町			H 1 9	H 1 9	H 2 3
事業目的			事業内容		
区画形質の改善や水路、農道等の整備を行い、農業の生産性を向上させて効率的・安定的な農業経営を確立し、食料の安定供給力の向上を図る。 事業主体：(仮称)中ノ番松陰土地改良区			・区画整理 18.2 ha ・負担率 [国50%、県17%、市28%、地元5%]		
評価視点	評価結果の説明				
(1)必要性	当地区はため池を用水源とし、水稻のほかキャベツ・花卉類等を生産しているが、現況の農地は不整形の小区画（平均7a）で、道路水路も未整備であるため、営農効率が悪く、農業従事者にとって多大な負担となっている。 このため、本事業の実施により区画を拡大する（標準30a）と共に道水路を整備して、都市近郊地域の有利性を活かした農作物の栽培拡大と農業生産コストの縮減を図り、農業生産性の向上と経営の安定化を確保する必要がある。				
(2)有効性・効率性	費用便益比 $B / C = 1.15$ （便益額 $B = 379$ 百万円、総費用 $C = 330$ 百万円） 投資効率が 1.0 以上であり、事業としての効果が十分に期待できる。				
(3)環境適合性	道路路盤材・構造物基礎等には再生砕石等を積極的に利用する。 ため池周辺に環境型ブロックを設置し既存生物の生息空間を確保するとともに、周辺との景観に調和したやすらぎとゆとりの空間を創出する。				
(4)優先性	当地区の農産物は周辺住民からの需要が高いことから、地産地消のさらなる拡大を目指すため、効率的・安定的な農産物の供給が図れるよう、農業生産基盤の整備が求められている。				